

鮮明な映像・明瞭な音声と遠隔地から確認できるクラウドサービスで デイサービスの将来を見据えた、利用者に喜ばれる介護DXを推進。



株式会社ツクイ 様

導入時期：2024年7月
導入地域：関東

課題

デイサービス利用の目的が多様化している中、限られた人数で一層安心できる運用を行いたい

解決策

カメラで撮影し遠隔地のPCなどから確認できるCameleoを採用。現場の状況確認から社内研修まで映像と音声を活用

“利用者とスタッフに負担のない形で介護DXを推進することができるようになりました。”

株式会社ツクイ
営業部 IT推進課 チーフスペシャリスト
波戸 真之介 様

※所属は納入時のものです。

背景

年々多様化するデイサービスの利用目的

毎日利用者が変わるデイサービスでは、ニーズに合わせたスタッフの柔軟な対応が求められ、日々の利用者の状況把握は必須の業務になります。営業部IT推進課 チーフスペシャリストの波戸真之介様は語ります。「デイサービスを利用される目的は年々多様化しています。例えば機能訓練や認知症への対応、予防などはもちろん、入浴や趣味活動を主な目的にご利用される方も増えてきました。その多様化により、これまで以上に安全性や利用者の様子、活動内容などを把握し、サービスが行き届いているかを確認することが必要になっていました。しかしスタッフの数は限られており、一層利用者が安心できるサービスのための介護DX推進が検討されていました。」

導入した理由

利用者とスタッフに負担のないシステムを実現

介護DXに向けた取り組みは様々な方法がありますが、株式会社ツクイ様ではできるだけ利用者とスタッフの負担にならない仕組みを追求されました。波戸真之介様は、「センサーなど様々な機器・システムを組み合わせると運用が煩雑になりますし、ウェアラブルデバイスなどはそもそもつけてもらえるか、つけ間違いや外し忘れ、充電切れは起こらないか、などが気になってしまいました。その点カメラであればこれまで通りのデイサービス運用のまま、映像を見て利用者の安全やスタッフがサービスをしっかりと行えているかを確認でき、さらに映像による検知や解析などで人の目では気が付きづらい部分も正確に把握することができるようになります。そこで映像解析を想定した現場映像活用サービスCameleoの採用を決めました。」と話します。

人生100年幸福に生きる時代へ。

介護が当たり前でない時代にその必要性を感じ、いち早く介護事業を始めた株式会社ツクイ様。本格的な高齢社会における介護事業者としての使命と業界大手としての社会的責任を果たしながら、長期にわたる持続的な成長を目指す経営に取り組まれています。

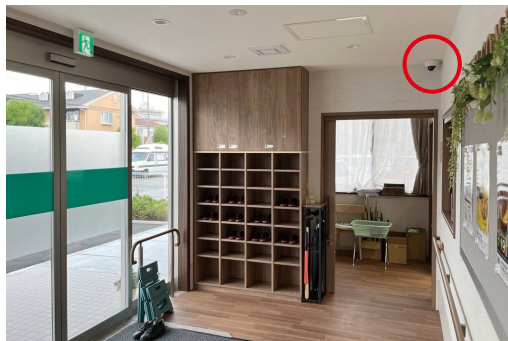
- 所在地：神奈川県横浜市港南区上大岡西1目6番1号
- URL：https://corp.tsukui.net/



▲ 株式会社ツクイ様の本社エントランス



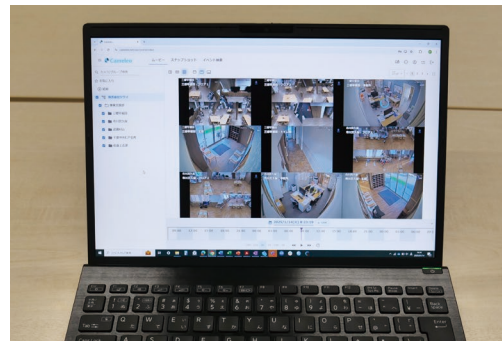
現場映像活用サービス Cameleo



▲ 市川宮久保事業所の入り口に設置されたドームカメラで入所、退所の状況を撮影



▲ 施設内の動線を撮影する市川宮久保事業所のドームカメラ(写真左)とフロアを撮影する武蔵村山事業所の全方位カメラ(写真右)



▲ 9分割画面で効率的なモニタリングが行えるCameleoのモニタリング画面



▲ 気になる部分を確認するために映像を1画面で全表示することも可能

導入後の効果

遠隔で映像を確認できるCameleoが 安心・安全とサービスの質を向上

新規施設の開所の際は、当面の間、現場のスタッフだけでなく5名の新規開発専門のスタッフもポイントごとに状況を確認・把握するシステムになっています。その際、場所は日本全国になります。事業支援部 新規開設課 シニアスペシャリストの五十嵐廣多様は、「これまでは現地へ訪問しなければ見られなかったり、電話で状況を確認するなどしていました。その点Cameleoであれば、どのようなイベントを行っていて、その際の利用者の様子も映像と音声で確認できます。楽しそうな顔を見るととてもうれしくなります。また電話も相手の状況を映像で確認してから掛けられるため、忙しさが落ち着いたタイミングで落ち着いて話ができ、コミュニケーションも深くなったと感じています。」と評価します。

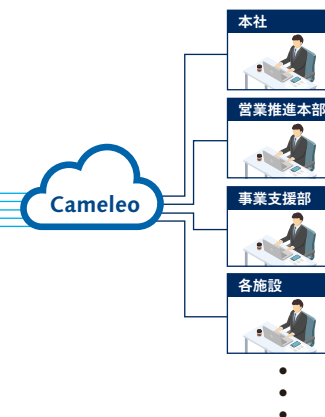
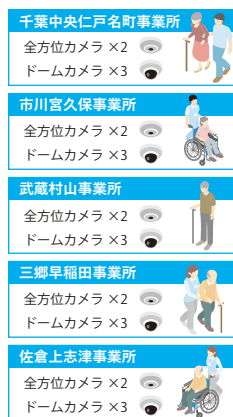
サービス向上と研修利用

Cameleoは安心・安全を見守る一方で、もう一つの利用目的であるサービス向上へも積極的に活用されています。五十嵐廣多様は語ります。「先日利用者が帰られる時に『帽子が見当たらない』という話になりました。すぐに施設に入所した際の映像を確認したところ、実は最初からかぶっていなかったことがわかり、安心していただくことができました。このような、記憶では不確かであったり、スタッフが見ていないところで行われていることもしっかりと確認、説明でき、納得いただけます。また、スタッフによってサービスが変わってしまうことを避けるために、研修で熟練のスタッフの所作や声かけの仕方などを映像で確認するなど、教材としても活用できています。映像・音声とも明瞭であるがゆえに可能なことだと思います。今後は新規オープン時のマニュアルとしても活用していきたいですね」



◀ 離れた場所から施設を確認できるため、移動の時間やコストも大幅に軽減

システムイメージ



お客様の声

今、これでスタート地点に立てたと感じています。

パナソニック コネクトさんは、現場の多岐にわたる改善要望に真摯に向き合ってもらえたと感じています。技術力はもちろんですが、その取り組み姿勢に共感し、未知なる領域へ進むパートナーとして一緒に苦勞してもらえると確信していました。Cameleoは現在5施設で稼働していますが、これはまだ介護DXの基礎環境を整えた段階と認識しています。これから様々な検知ができるようになれば、私達の描く介護の未来に近づけると思いますが、運用面もそのシステムを生かしたワークフローを標準化していく必要があるでしょう。これからもデジタル技術をさらに活用し、利用者やスタッフにとって安心・安全でコミュニケーション豊かな介護現場の実現に向けて共創していきたいと考えています。



納入機器

- ・現場映像活用サービス Cameleo×一式
- ・i-PRO 5MP屋内全方位AIカメラ WV-S4156U ×10(5施設合計)
- ・i-PRO 2MP屋内AIドームカメラ WV-S2135UX ×15(5施設合計)

